

## 病院長からのメッセージ

## 「病院ボランティア」

病院長 泉 良平



皆様が病院を訪れた際に利用されます「再診受付機」に、ボランティアの方が付き添われて、お世話しているのに気づかれた方がいらっしゃると思います。病院では、その他にも、様々な活動にボランティアの方々のお力をいただいています。また、このメールマガジンにも、「ボランティア・エッセイ」が載せられていますので、御存知のことと思います。

ボランティア人口は、アメリカでは1億人以上といわれますが、日本ではその約10分の1にすぎないとのこと。しかし、社会の成熟と共に、ボランティアを行われる方が増えてきています。日本でも、ボランティアの活動は古くから始められていますが、病院ボランティアということになりますと、皆様が思いつかれますのは、日赤奉仕団ではないかと思えます。古くから活動が行われ、多くの方が病院ボランティアとして活躍中です。

病院ボランティアとして良く知られているものに、東京大学病院でのボランティア活動があります。平成6年から、都内のデパート職員による本格的な病院ボランティアが始められました。このボランティア活動を積極的に進められたのが、渡邊一雄さんです。アメリカで経験されたボランティア活動のすばらしさを目の当たりにされて、日本でのフィランソピイ(社会貢献)の普及をライフワークとされるに至りました。フィランソピイはPilos(愛)とAnthropos(人間)というギリシャ語から発生した言葉であり、「人間愛」と訳せます。渡邊さんは、特に病院でのボランティア活動では、ボランティアのみならず、病院スタッフにもフィランソピイの花を咲かせたいという思いを示されました。医師や看護師・技師などのスタッフがボランティアに共感し、それがボランティアへの態度や感謝の言葉として表され、ボランティアの喜びを分かち合うことが出来れば、医療者を人間的に成長させることになり、本来、命への愛・奉仕を行うべき医療者が、まさに「人間愛」に目覚めること

になります。病院という、狭い環境の中での仕事関係以外に、広く社会への意識を目覚めさせることによって、思いやりのある人間としての成長を促すことが出来ると考えたのです。

東京大学病院では、研修医対象にボランティアについての講座が、ボランティアである渡邊さんによってもたれ、その中で、彼は「心の優しい医師になってほしい。そしてフィランソピイを実践しながら、楽しい人生を送ってもらいたい。」とメッセージを伝えています。ボランティアが、単なる社会への貢献にとどまらず、人間性の成長にも大きな役割を与えるのであれば、大変素晴らしいことであると思えます。

富山市民病院では、平成11年からボランティアの方々に、病院内での活動をお願いし、これまでに35名の方と、「ふれあいギャラリー」出展者として11の個人・団体の方に、ボランティアとしての登録をしていただくことが出来ました。現在は約20名の方が、積極的にボランティアとして活躍していただいています。内容は、外来受付や、リハビリを中心とした病棟業務、患者様用図書館である「さんぽ図書」の司書、院内ミニ図書の整備、小児病棟での本の読み聞かせやマジックなどの催し、車椅子などの整備、院内の写真掲示、そして、「ふれあいギャラリー」での素晴らしい作品の展覧等と、本当に多岐にわたっています。これまでに培われてこられた人生体験を、私達にお示しいただいていることが、肌身に感じられます。ボランティアの方の活動が、職員に素晴らしい影響を与えていると感じ、心より感謝いたします。これからも、ボランティアの皆様と共に、生きる喜びを共に感ずることが出来ますよう、ご一緒に歩んでまいりたいと思います。ボランティアを御希望の方がいらっしゃいましたら、看護部のボランティアコーディネーター・山本までお知らせ下さい。

(参考資料：渡邊一雄 編著、「病院が変わる、ボランティアが変える」はる書房)

## 目次

■病院長からのメッセージ ○「病院ボランティア」	1
■診療科紹介 ○皮膚科	2
■連載企画 ○旬をたのしむ②「なす」	3
■特別寄稿 「看護専門学校建設はじまる 完成は平成18年1月」 富山市立看護専門学校事務長 中田俊充	3
■連載企画 ○病棟だより⑥「東病棟6階」	4
■連載企画 ○検査値の見方⑤ 「尿酸値が高いといわれたら」	4
■e-お見舞いカードをご利用 くださいホームページ編集部	5
■連載企画 ○病院を支える専門職③ 「細胞検査士のご紹介」 細胞検査士 林 宏	5
■連載企画 ○ボランティア・エッセイ⑥ 「願いごと」 病院ボランティア 石森貞夫	6
■連載企画 医療相談Q&A③ 「身体障害者福祉制度」	6
■ボランティアへの感謝状贈呈 と交流会開催	7
■特別寄稿 「Q&A 紹介状と待ち時間」 地域医療連携室	7
■今月のふれあいギャラリー	8
■今月のイベントと院内の動き	8
■編集コラム	8



## 診療科紹介 皮膚科



野村 佳弘  
(のむら よしひろ)  
皮膚科部長  
昭和59年卒

- 専門領域 皮膚科一般、アトピー性皮膚炎、ウィルス性疾患、皮膚腫瘍
- 資格 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士
- モットー・患者さんへの一言 誠実



伊川 友香  
(いかわ ゆうか)  
皮膚科医師  
平成14年卒

- 専門領域 皮膚科一般
- 資格・学会 日本皮膚科学会
- モットー・患者さんへの一言 お互いに気持ちのよい診療を心がけます。

皮膚科は皮膚に現われた病変や異常を対象とする診療科です。皮膚疾患には皮膚に原因があって生じる病変や内臓病変に関連して皮膚に現われる病変など非常に多くの病気があります。公的病院の皮膚科として、湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、足白癬（みずむし）、尋常性ざ瘡（にきび）、尋常性疣贅（いぼ）、母斑細胞母斑（ほくろ）などのごく身近な疾患からアトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、蜂窩織炎、帯状疱疹、血管炎、水疱症、皮膚腫瘍などの難治性または入院治療を要する疾患まで幅広く皮膚疾患全般にわたり対応できるよう努めています。必要に応じて検査を行い、正確に診断し、症状の程度や患者さんの状態を考慮のうえ最適な治療法を選択し、病気の状態や治療法について患者さんや家族の方にわかりやすく説明して治療するよう心掛けています。皮膚癌の早期発見や難治性皮膚疾患の診断のため積極的に皮膚生検を行っています。また、皮膚癌や膠原病などの内臓病変を伴う疾患においては、他科と協力して適切な治療を行うようにしています。

### ★アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎はよくなったり悪くなったりをくり返す、かゆみのある湿疹を主な病変とする病気です。その原因は今のところ十分に明らかにされていませんが、アトピー素因というアレルギー的側面と皮膚のバリアー機能の低下という非アレルギー的側面があることが一般に認められています。

日本皮膚科学会編「アトピー性皮膚炎治療ガイドライン」において、アトピー性皮膚炎の炎症に対しては主にステロイド外用剤の塗布を行い、バリアー機能の低下に対しては保湿剤の外用などによるスキンケアを行い、かゆみに対しては抗ヒスタミン剤や抗アレルギー剤の内服を補助的に併用し、日常生活を見直して悪化因子をできるだけ除去することが標準的な治療とされています。当科ではこのガイドラインに従いアトピー性皮膚炎の治療を行っています。それぞれの発疹の重症度に応じてステロイド外用剤のランクを適切に選択し、炎症症状が改善するに従って徐々にランクを下げ、炎症症状がなくなれば保湿剤やワセリンなどのスキンケア的な外用剤に変更します。特に副作用の生じやすい子供の患者さん、顔面、頸部などの部位では定期的な診察と細やかな外用指導に心掛けています。また、タクロリムスという免疫調整薬の外用剤も必要に応じて使用しています。この薬剤は中

程度のステロイド外用剤と同じほどの効果があり、ステロイド外用剤でみられるような潮紅、皮膚萎縮という副作用がないという長所をもつ薬剤です。効果、副作用および使用方法についてよく説明し、理解していただいた上で治療に使用しています。また、居住環境、食事、入浴、衣服などに関する生活指導を行い、必要に応じて悪化因子の確認のためにパッチテスト、IgE値（RAST法）測定などの検査を行っています。

### ★皮膚癌、癌前駆症

人口の高齢化や紫外線曝露量の増加などにより、近年皮膚癌は増加傾向にあります。癌の場合、早期に診断し、進行する前に適切な治療をすることが最も重要です。皮膚癌は目に見えるところに発生するので、最も早期発見が可能な癌といえます。ただし、進行癌は一見して癌と診断できますが、癌前駆症や早期癌は癌というよりはむしろ湿疹やイボのように見ることがあり、皮膚科専門医でないと診断が困難な場合が少なくありません。正確に診断するためには、病変の一部を手術的に採取（生検）して、病理検査をする必要があります。できものが急に大きくなったとか、悪性でないかと心配している方は、ぜひ診察を受けることをお勧めします。

★皮膚科のホームページでは、その他の主な病気として、尋常性乾癬、帯状疱疹、皮膚そう痒症、足白癬（水虫）について、写真付きで詳しく解説されています。どうぞご覧下さい。

[http://www.tch.toyama.toyama.jp/main/shinryo\\_info/hifu/index.htm](http://www.tch.toyama.toyama.jp/main/shinryo_info/hifu/index.htm)



**悪性黒色腫**：「ホクロの癌」と呼ばれ、転移しやすく悪性度の高い癌です。日本人では足のうらに発生することが多いですが、早期病変はホクロと区別しにくいので、足のうらに生じた黒色調の発疹には要注意です。その他の部位でも大型のホクロや形がいびつで、色のつき方にむらがあるホクロには注意が必要です。早期発見が極めて重要な癌です。



■連載企画 旬をたのしむ③ 「なす」



原産地はインドで我が国へは、奈良時代に中国から伝わりました。長卵型の長ナス、種子が少なく小型の小丸ナス、米ナスなど、様々な品種があります。

90%以上は水分で、栄養的にはそれほど期待できませんが、我が国や中国では、古くから様々な薬効が期待できるとして民間療法に使われてきました。熱を冷ます、血液の循環をよくする、痛み止め、尿の出をよくするなどの作用が知られており、のぼせ改善、高血圧症の改善によいとわれています。

★管理栄養士からアドバイス

なすはビタミンEを含む植物油と組み合わせるとれば、夏場のエネルギー補給に役立ちます。鮮やかな紫色はナスニンという色素です。ナスニンは、コレステロール値を下げて動脈硬化を防ぐ働きがあります。切り口が黒くなるのは、クロゲン酸というポリフェノールを含むためです。ポリフェノールは活性酸素や過酸化脂質の生成を抑え、老化やガンを防ぐ作用があります。

★トリビアの泉

「秋なすは嫁に食わずな」という諺がありますが、これは「なす」が体を冷やすため、流産などを避けるようにとの意味があるとか… 決して、嫁いびりではありません。

なすの栄養(100g中)

エネルギー	22kcal
たん白質	1.1g
脂質	0.1g
食物繊維	2.2mg
カリウム	220mg
カルシウム	18mg
リン	30mg
鉄	0.3mg
亜鉛	0.2mg
銅	0.06mg
ビタミンB1	0.05mg
ビタミンB2	0.05mg
ビタミンC	4mg
ビタミンE	0.3mg

■特別寄稿

「看護専門学校建設はじまる 完成は平成18年1月」  
富山市立看護専門学校事務長 中田俊充



富山市立看護専門学校は、准看護師を看護師に養成する2年課程の専門学校で、現在、富山市五福にあります。高校の衛生看護科を卒業した人や准看護師養成所を卒業した人で、准看護師資格を持った人が看護師資格取得を目指して勉強しております。

を設けています。修業年限は3年で、定員が1学年40人、開校は、平成18年4月の予定です。

医療技術の高度化など医療を取り巻く環境が大きく変化し、看護に対する要望も大きくなってきており、富山市立看護専門学校は、これらの要望に応えられる質の高い看護師を育てるため、今後とも施設や

富山市ではこの看護専門学校を3年課程の看護師を養成する機関(対象は高校卒業程度の学力を有する人)として富山市今泉地内の市民病院近くに移転改築することといたしました。これは、准看護師資格を得るための単位取得時間が変更となり、高校での准看護師資格が取得できなくなったこと、患者の多様な看護ニーズに的確に対応できる質の高い看護師が望まれること、現在の校舎の老朽化が著しいことなどによるものです。



新しい看護専門学校は、4階建てで、延べ床面積が2,980㎡、在宅介護実習室や情報処理室など

完成予想図

## ■連載企画 病棟だより⑥ 「東病棟6階」

私たちの病棟は、内科・整形外科の混合病棟です。内科は主に糖尿病と腎臓病が主体になっています。最近『6人に1人が糖尿病の時代』と、言われています。その為、生活習慣病を真っ向から受け止めて治療に専念されている患者様が多くいらっしゃいます。私たちは1日のスケジュールを通して、患者様と共に糖尿病の学習を行っています。簡単ですが一部をご紹介します。

まず、早朝6:30からの体重測定に始まり血糖測定・インスリン注射を行います。ナースステーションへ皆様が集まっていただき、初日は全然出来ない患者様も、看護師と共に説明書を片手に覚える事が出来ます。2・3日もすると、新しい患者様に「こうするといいよ。」とアドバイスされ、微笑ましい光景を目にします。9:30からはデイルームでビデオ学習を行います。開放された空間で、ビデオ後に雑談で色々な話しをします。悩みや疑問を話し合う事で解決策や同じ思いを解りあうと心が軽く感じられるのか、皆様の顔に明るい表情が見られます。午後1:00からはラジオ体操を行います。全身の関節を動かす事で、心身をリフレッシュする事が出来ます。この時は、整形外科の患者様や家族の皆様も進んで参加され、午後からの活動の活力を養います。午後には糖尿病教室を行います。また、2週間に1度は食事会を行います。



東病棟6階のスタッフ

この時は看護師も一緒に参加し、いかにバランスの良い食事が大切かを痛感させられます。「もしかしたら、糖尿病かな。」ってお悩みの際には当院の内科にお寄り下さい。決して放って置かないで下さいね。最後にビデオの言葉を引用します。『糖尿病、おそれず、あわてず、あなどらず』

## ■連載企画 検査値の見方⑤ 「尿酸値が高いといわれたら」

そもそも尿酸とは何なのか知らない方も多いと思いますが、風が吹いただけで痛むという「痛風」はご存知でしょうか。肉類を好む方やお酒の好きな方がかかりやすく、贅沢病と揶揄されることもある生活習慣病の一つです。尿酸はプリン体という細胞内の核酸（DNA）が分解されてできる物質で、通常は食餌中（肉、レバーなど）の外来性プリン体をもとに肝臓で作られ、名前の通り腎臓から尿中に排泄されます。肉類を偏食する方や腎機能が低下した方、またアルコールは尿酸産生を促進しますのでお酒のみの方は、血液中の尿酸値が高くなります。一般に男性の方が女性よりも高く、当院の基準値は男性で7.0mg/dlです。これが高くなり、とくに8mg/dlを超えるようになると血液中に溶けきれなくなって、結晶となって組織に沈着します。ある日突然、足の親指の付け根あたりに激痛がおこって歩けなくなるという痛風の典型的な発作症状も、実は尿酸の結晶が関節に沈着し、それをきっかけに強い炎症を引き起こすためなのです。

また尿酸値が高いとその排泄経路である腎臓に沈着して、最後には痛風腎と呼ばれる腎不全になることもありますし、尿路結石も引き起こします。痛みに対しては消炎剤が効きますが、痛みがあってもなくても、食餌

療法や薬で尿酸値をさげる必要があります。また、腎障害による尿酸排泄低下のこともありますので、必要に応じ腎機能の精密検査をうけていただくこともあります。尚、特別な場合として、癌の治療後に壊れたがん細胞のプリン体から尿酸が急に産生されて尿酸値が高くなることもあります。

最近プリン体カットのビールが発売されたようですが、痛風の気のある酒飲みには朗報かも知れません。

痛風の診断と治療について、詳しくは当院内分泌・代謝内科の専門医と十分ご相談下さい。（臨床検査専門医、齋藤）



## ■ e-お見舞いカードをご利用ください

ホームページ編集部

お見舞いに行きたいけれども、忙しくてなかなか行けない…そんな皆さまのために、当院ではホームページで「e-お見舞いカード」サービスを行っています。

### ★お見舞いカード

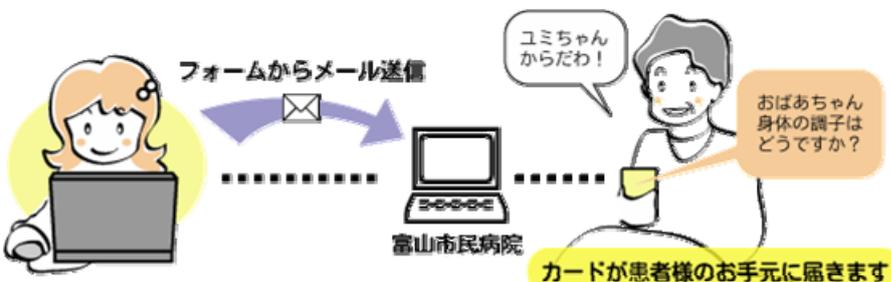
富山市民病院に入院中の患者さまへ、あなたの優しいお心遣いをお届けします。皆さまがホームページ上で入力されたお見舞いの内容を、当院でカード形式に印刷して、看護師が患者さまへお届けいたします。

### ★ご利用は無料です！！

「e-お見舞いカード」サービスのご利用は無料です。どんどん、ご利用ください。

### ★メールアドレスは不要です

「e-お見舞いカード」サービスは、ホームページの機能を利用しています。そのため、インターネットを使用できる環境があれば、メールアドレスを



## ■連載企画 病院を支える専門職③

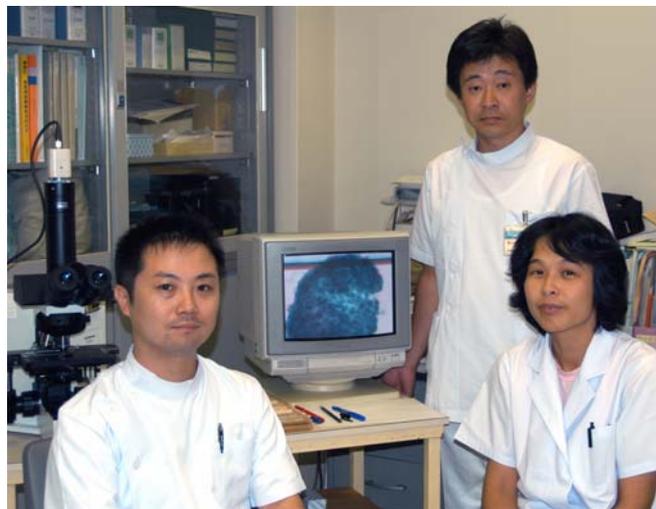
### 「細胞検査士(サイトスクリーナー)のご紹介」

細胞検査士 林 宏

細胞検査士という職業をご存じでしょうか。一般の人々には聞き慣れない職業ですが、顕微鏡を使って患者さんの命にかかわる仕事をしています。今回私たちの仕事である細胞診とそれを行う細胞検査士について紹介したいと思います。

細胞診とは良性細胞か悪性細胞か見分けたり、良性細胞の中から少数の悪性細胞を見つけ出す検査のことを言います。細胞診の特徴は、体にほとんど傷をつけることなく検査ができることです。だから、同じ人が何度も繰り返して検査できるし、体に傷痕も残りません。また、子宮癌発見のための婦人科検診や喀痰による肺癌検診のように沢山の人の検査が可能です。直接、体の一部を擦って細胞を取ったり(子宮癌など)、体から排泄されるものの中の細胞を集めたり(痰：肺癌、尿：膀胱癌など)、「しこり」に直接注射針を刺し込んで細胞を吸い取って(乳癌、甲状腺癌など)検査します。子宮癌と肺癌は細胞診による検診が行われているので、これらの検体が細胞診全体に占める割合は多くなります。細胞診で、悪性細胞や「あやしい細胞」が見つかったら、次の段階として直接メスで体の一部を切り取って調べること(生検)になります(病理組織診断)。もし細胞診でがん細胞を見逃してしまうと、がんが大きくなってしまいますので責任は重大です。細胞診や病理組織診断のように顕微鏡で調べる方法を形態学的検査(診断)と言います。

細胞検査士とは正常な細胞の中から、「がん細胞」を探し出すのが仕事になります。細胞診を行うためには資格が必要で、この認定資格を有する検査技師のことを細胞検査士と言います。ただし、細胞検査士は単独でがん細胞の診断を行なうことはできません。細胞検査士が「がん細胞、またはがんの可能性のある細胞」と判定した細胞の最終診断は、医師にゆだねられます。このような資格を持つ医師を「細胞診指導医」と言います。私たち細胞検査士は、細胞診指導医と二人三脚で、日々の細胞診業務にあたっています。



細胞診カンファレンス風景

## ■連載企画 ボランティア・エッセイ⑥ 「願いごと」

病院ボランティア 石森 貞夫

先月は病院のロビーの「七夕飾り」に、外来者の親子ずれや入院患者さん達が、「願いごと」を短冊に書いて、お星様や神様・仏様に、心からお願いをされました。『手術が無事に終わりますように』『普通に過ごせて、家族の幸せが訪れますように』『退院できますように』『子供が健やかに育ちますように』などときさやかな願いごとです。“願いごと、山ほどあれど、健康が一番”と太字で書いてありました。

人々の願い(救い)は、病気が治る、お金がもうかる、無事安産、合格、交通安全など一般社会においては、いわゆる救いにあずかりたいとゆう願いでしょうが、それは一ときの心休めで、ノド元を過ぎれば熱さを忘れるように、次から次へと人間の欲望はつきず、一つの願いがかなっても、次の苦難が待っているのが人生でしょうね。遠い昔、ローマ帝国が滅びた理由の一つに、貪欲な欲望の果てに何をしても満足できなかったローマ人の奢りが、刺激を求めて人間とライオンとを戦わせ、これが要因で帝国も人々も滅んでいったあまりにも悲しい話で、人間の業の深さが思いやられます。

さて私は、講演会を聞く機会があります。先般『いのちを見つめて生きる』とゆう題名で、西村花園学園長の“人間存在の尊さ”について学びました。人は人格の尊厳性が問われるとゆうことで、①一日一度は静かに座って、心身を整えよう(一分間でも瞑想する)。②長命はその人の長い呼吸法から(ゆっくり吸って腹の底から長く息を吐く)。③この一言でケンカして、

この一言で仲直りのくり返しが世渡りの秘訣です。④人間の厳しさに目覚め、自分の生活も他人の生活も大切である(世間とのつき合い)。

《明日は死ぬ 景色も見える 蟬の声》 夏本番、蟬の声を聞きながら、自分の一日を少しでも時間を取って瞑想しながら、反省したいものです。自覚することは、一方では希望(まやかし、ゴマカシ)を持つことですが、私達は時間とゆう定義のなかで、音をたてて流れる現象を感じながら、その短いことを知っているのはごく悟りのある人間だけであり、存在は時間(エネルギー)そのものであると先生は説かれ、最後に次のように結ばれました。

- ①自分の生活の短かさ(時間)をよく自覚せよ。
- ②従ってそばにいる人も、いたわりの心で接しよう。
- ③夫婦・親子・友人お互いに個人の人格を尊重しよう。
- ④自分の事は自分で行え(生命の根源)。
- ⑤病気を知って弱さを知る体験が必要です(健康な時は分からない)。

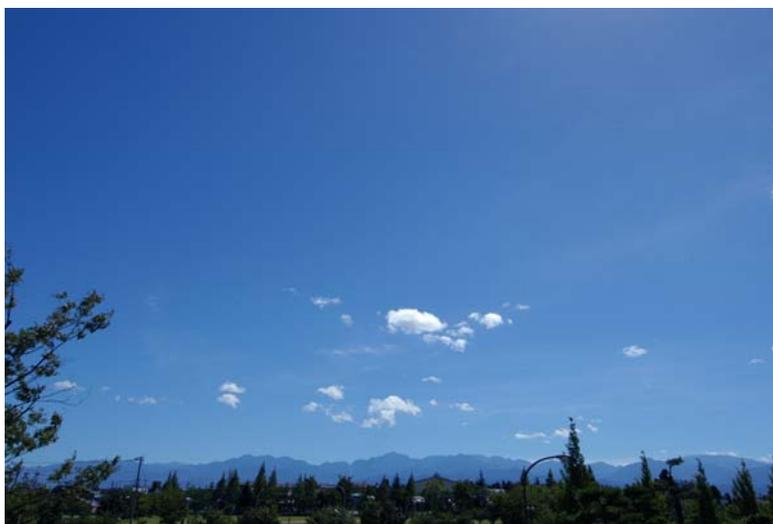
病院に係わりのある医療スタッフ、職員、ささやかなボランティアのみなさん、絶えず自覚と反省を忘れず少しでも健全な発展と、今後の推進を図って行きましょう。

今日も明るい元気な、車椅子の外来者は自動扉の前で「開けーゴマ？」と大声で、マジメに呼びかけて、扉を開けて、私に笑顔で手を振って整形外来の方へ。今日もまた一日がスタートしました。

## ■連載企画 医療相談Q&A③ 「身体障害者福祉制度」

**Q** 病気や怪我がひどくて障害が残ってしまった時、何か利用できる制度はないですか。

**A** 身体障害者福祉制度があります。人工関節や脳梗塞後遺症による肢体不自由、人工肛門による直腸機能障害などで身体障害者手帳の交付を受けると補装具(車椅子やストマ装具など)の交付またはホームヘルプサービスを受けることができます。障害の程度によっては、医療費の免除や税金の減免、交通運賃の割引などの制度が利用できます。その他には所得保障として障害年金制度などがあります。詳しくは医療相談室までお尋ねください。



## ■ボランティアへの感謝状贈呈と交流会開催

7月27日(火)午後3時半より、職員食堂において、ふれあいギャラリーの開設1周年を祝い、出品者の方々に感謝とお礼を込め、院長より感謝状の贈呈が行われました。また、日々「案内」や「車いす搬送」、「小児の遊び」などボランティアに長年活動された4名の方々の表彰も行われました。感謝状は手作りで、それぞれの方



に応じた感謝の言葉が記されており、頂いた方々は「とても感激しました」と喜びを伝えていらっしゃいました。

その後、病院職員との交流会が行なわれました。交流会は涼や癒しの趣向を凝らした環境の中で職員の方々の心のもった手づくり菓子も用意され和やかに行なわれた。今回、あわせて43名の方が参加されました。



## ■特別寄稿 「Q&A 紹介状と待ち時間」

### 地域医療連携室

**Q** 市民病院を受診したいと思いますが、紹介状を持っていったほうがいいと聞きました。なぜでしょうか？

**A** 当院は地域の中核病院として、地域の先生方と連携して皆様の健康をお守りする立場にあります。厚生労働省は地域医療機関（開業医）に対して、皆様のかかりつけ医として皆様の身近に存在し、健康に関する相談に応じながら医療を提供するように、と指導しています。同じく、地域中核病院に対しては専門医療や救急診療を重視した医療を提供し、紹介状を持って受診される患者さまを優先診療するよう、指導しています。厚生労働省では、皆様が身体状況に応じた医療機関を選択することで、安心と満足のいく医療が提供できると考えており、こういう理由で当院では、日頃のかかりつけ医へ通院し、入院や専門治療が必要となられた場合、紹介状を持って来院して下さることをお勧めしているわけです。

当院は地域医療連携室を窓口として、地域医療機関（開業医）と密接な関係を築いています。当院へ受診される場合、ご自分のかかりつけ医から紹介状をお持ちになると、優先診療を受けることができます。また、かかりつけ医より事前に地域医療連携室へ予約し

ていただくことで、外来待ち時間を少なくすることができます。現在、紹介状のない患者様は特定療養費（1050円）が加算されますが、紹介状をお持ちになりますと特定療養費（1050円）は不要になり、経済的にも有利と言えます。

病院外来は相変わらず混雑しています。長く待たされることは皆様にとって最大のご不満かと思えます。当院としても診療予約を勧め、待ち時間の緩和に努めているところです。また、待ち時間のご案内や有効な過ごし方についても、現在いろいろと検討中です。

ご自分のかかりつけ医を持っていただいて、かかりつけ医より事前に当院の地域医療連携室へ予約していただければ、優先的に予約時間に診療を受けることができます。待ち時間の解消という意味でも皆様にお勧めしているところです。このように紹介状をお持ちの患者様を優先しておりますので、紹介状をお持ちでない患者様には長時間お待ちいただくこともございますので、どうかご理解下さいますようお願い申し上げます。もちろん、紹介状をお持ちでなくても急を要する病状の場合は最優先で診療を行っておりますので、ご安心いただきたいと思います。

## ■今月のふれあいギャラリー（玄関ホール2階）

8月26日より、写真「花火」（小坂甲子男さん作）を展示しています。待ち時間などに気軽にお立ち寄り下さい。8月2日より展示していました写真「自然に導かれ出合い」（村沢京子さん作）は8月25日で終了しました。ありがとうございました。

## ■今月のイベントと院内の動き

○8月23日（月）にボランティアによる「小・中学生の民謡踊り」が正面玄関エントランスホールで行われました。富山県民謡を中心に可愛い民謡踊り、ありがとうございました。

○南側通用口の閉錠時間が延長されました。午後7時（従来午後6時）まで出入りできます。第2駐車場をご利用の方、ご利用下さい。

○工事のご案内：集中治療室(ICU)及び高度管理治療室(HCU)の工事が8月10日から始まりました。来年2月28日に完成する予定です。この間、現在の集中治療室、手術室、1階の食堂・売店などでは工事に伴う騒音・振動及び各種回線工事など、皆様にご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、ご協力をお願いいたします。

### ☆お知らせ☆

本誌は富山市民病院メールマガジンでお届けした内容をリメイクして編集しております。電子メールアドレスをお持ちの方は、この機会にぜひ電子メールアドレスをご登録下さい。お申し込みは富山市民病院ホームページ（<http://www.tch.toyama.toyama.jp/>）下段左のウェブサポーター欄をご覧ください。

## ■編集コラム

「ジョンQ—最後の決断—」という映画をご覧になったことがありますか。ある日突然、最愛の息子が重い心臓病にかかる。命を救う手だては心臓移植だけ。保険をけちった会社のせいで適応されるはずの保険が利かず、高額医療保障も受けられない。万事休すの状況で父親のとした行動は？ 男の愛称はジョンQ。「俺が助けてみせる、息子を死なせない」名優デンゼル・ワシントン演ずるジョンQが、息子の命を救うため大病院の救急病棟をジャックする。要求はただ一つ、息子の命を救うことだった。

この映画はアクション映画とはまったく違って、感動的な人間ドラマであり、ご覧になった皆さまも、ジョンQの息子を愛する気持ちに思わず涙したに違いありません。労働者の生活を無視して経営のためだけに医療保険費を削減する会社。保険（お金）のない患者に治療を受けさせない冷徹な病院経営者。そんな狭間で、息子への愛が、人間性という細い糸をよりあわせ、奇跡を起こしたのです。

一方この映画は、市場原理に支配されるアメリカの医療の裏側を暴いた社会映画でもあります。医は算術と揶揄されるように、仁術であるべき医療は本来市場原理よりも倫理が優先されるべきものではないでしょうか。今、日本の医療制度も見直されようとしています。しかし、日本の国民皆保険制度は世界中がうらやむくらいよくできた制度であり、医療費が払えないから粗末な治療を受けさせられるということは日本ではないのです。だからこそ、こういういい制度が今後も永続できるよう、少子化を向かえるこれからの時代に合わせて変えなければいけないでしょう。たとえどのよな時代になったとしても、富山市民病院は市民の皆さまの健康を守り続けます。



コスモス:「自然に導かれ出合い」展より  
村沢京子さん作  
(表紙のコスモスも村沢さんの作品です)



小・中学生の民謡踊り:正面玄関ホールにて  
「きよみ会」の皆さん  
(興南中、熊野小、新湊東明小)

総編集長:病院長 泉 良平  
編集部:齋藤勝彦・家城岩松・石森貞夫  
山本和子・森川知俊

発行:富山市立富山市民病院広報委員会  
〒939-8511  
富山市今泉北部町2-1

電話 076 (422) 1112  
Fax 076 (422) 1371

<http://www.tch.toyama.toyama.jp/>



富山市立 富山市民病院

